

株式会社一高設備

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2023 年10月1日～ 2024 年9月30日)



®環境省

エコアクション21
認証番号0012293

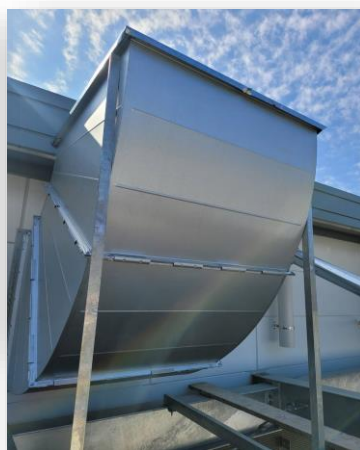
作成日: 2024年11月29日

目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
認証・登録の対象組織・活動	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	11



ダクト加工場(プラズマ切断機)



ダクト取付



空調・給排水衛生設備工事

環境経営方針

＜環境経営理念＞

株式会社一高設備は、事業活動(空調設備・給排水設備・ダクト設備の各工事)において生産活動および施工を通じて、環境負荷削減に努めるとともに、地域の環境保全を図り、全社一体となって持続的発展ができるよう自主的、積極的に環境経営を促進します。環境経営にあたっては、環境経営方針を策定し環境活動に取り組み、全員参画により定期的に結果を評価・見直し継続的な改善を目指します。

＜環境保全への行動指針＞

1. 省エネルギー、省資源、VEなどの有効性について積極的に提案・実施し環境保全に努めます。
2. 遊休品の活用や現場の3Rを積極的に実施し利益の向上と、省資源に努めます。
3. お客様要望事項を基に、環境への影響を考慮した設計・施工を行います。
4. お客様満足度向上のため、品質・工程・安全管理を強化し、併せて従業員のスキルアップに繋がります。
5. 設計・施工図の作成や社内書類の電子データ化を更に加速し、業務の効率的運用に努めます。
6. 環境関連法規および条例等を遵守します。
7. 車両の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
8. 事務所およびダクト工場並びに作業現場における電気使用量の削減により、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
9. 事務所およびダクト工場並びに作業現場における廃棄物排出量および水使用量の削減に努めます。
10. 化学物質の使用量を把握し、使用量を抑制します。
11. 社会への貢献や地域での信頼獲得、また経営リスク回避のためSDGsに積極的に取り組みます。
12. 環境経営方針は全従業員に周知徹底し、管理・改善を継続的に実施します。
13. 環境経営レポートを作成し、外部に公表します。
14. 環境経営方針について全社一丸となって取り組み、地域社会への貢献と健全な企業活動を継続して推進します。

改定日 令和5年11月30日

株式会社 一高設備

代表取締役 長崎 一

□組織の概要

更新日：2024年11月29日

- (1) 名称及び代表者名
株式会社一高設備
代表取締役 長崎一
- (2) 所在地
〒781-5101
高知県高知市布師田3978番地3
TEL 088-845-8800
FAX 088-845-8008
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 専務取締役 長崎 優弥
担当者 谷岡 亜耶 E-mail n.s-5@arion.ocn.ne.jp
- (4) 事業内容
建設業（管工事業）
・ 空気調和、給排水衛生設備の設計・施工
・ ダクト設備の加工および設計・施工
- (5) 建設業許可
許可番号 高知県知事（般-6）第8098号
許可年月日 令和6年9月14日
建設業の種類 管工事業
- (6) 設立
平成5年1月1日 長崎設備設立
平成9年10月1日 有限会社長崎設備に法人化
平成22年10月1日 株式会社一高設備に社名変更
- (7) 事業の規模
資本金 300 万円

活動規模	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
		2019年10月～ 2020年9月	2020年10月～ 2021年9月	2021年10月～ 2022年9月	2022年10月～ 2023年9月	2023年10月～ 2024年9月
工事等の件数	件	180	192	132	173	191
売上高	百万円	226	427	228	467	199
従業員	人	12	16	14	13	10
事務所床面積	㎡	112				
倉庫床面積	㎡	56				
資機材置場床面積	㎡	112				
工場・作業所等床面積	㎡	280				

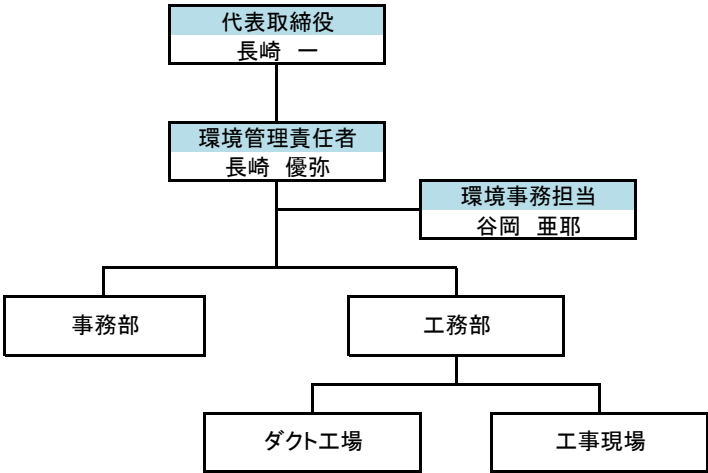
- (8) 事業年度 10 月 1 日 ～ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

- ・ 対象範囲（認証・登録範囲）： 全社 全活動 全従業員
- ・ レポートの対象期間： 令和5年10月～令和6年9月
- ・ 環境経営レポートの発行日： 令和6年11月29日
- ・ 作成責任者： 環境管理責任者 長崎優弥
- ・ 次回レポート発行予定日： 令和7年11月30日

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年11月29日



役割・責任・権限

代表者	・環境経営に関する統括責任 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンス の明確化 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・環境経営目標、環境経営計画の承認 ・代表者による評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等取りまとめ事項の承認 ・環境経営目標、環境経営計画を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務担当	・環境管理責任者の補佐 ・環境経営活動に関する各提出書類の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成
工務部	・現場およびダクト作業員へ環境経営方針の周知 ・現場の従業員に対する教育訓練の実施 ・現場に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・現場で想定される緊急事態に対応するための手順書作成・試行・訓練の実施、記録の作成 ・現場での問題点の発見、是正、予防処置の実施
ダクト工場・工事現場	・環境経営方針と環境への取組みの重要性を理解し、自主的・積極的に環境経営に参加し ・是正処置や指示が有った場合は速やかに処置、改善し環境管理責任者に報告する

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2020年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	44,517	32,363	38,861
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,060	1,198	1,082
産業廃棄物排出量	kg	8,046	12,514	24,168
総排水量	m ³	127	75	83

※二酸化炭素排出係数 0.574 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

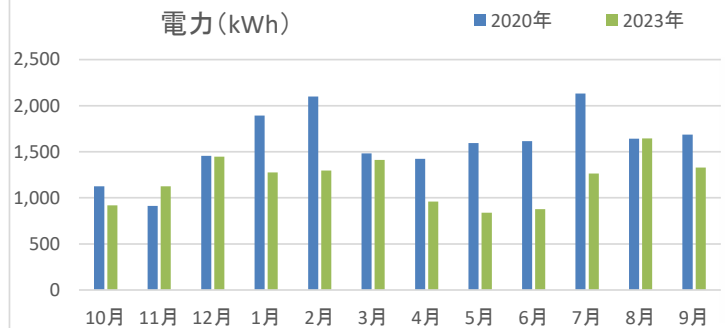
項 目		2020年	2023年			2024年	2025年
			上段：通期	下段：6ヶ月間	評価		
		(基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	10,939	10,282	8,257	○	10,064	9,845
	基準年度比		94%	75%		92%	90%
	原単位 kg-CO ₂ /千円	0.008	0.008	0.010	×	0.007	0.007
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	33,578	31,563	24,750	○	30,892	30,220
	基準年度比		94%	74%		92%	90%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	44,517	41,846	33,007		40,955	40,065
一般廃棄物の削減	kg	1,060	996	1,082	×	975	954
	基準年度比		94%	102%		92%	90%
産業廃棄物の削減	kg	8,046	7,563	24,168	×	7,402	7,241
	基準年度比		94%	300%		92%	90%
建設副産物の再資源化率の向上	%	62%	66%	69%	○	68%	70%
水道水の削減	m ³	127	119	83	○	117	114
	基準年度比		94%	65%		92%	90%
溶剤使用量削減（あるいは適正管理）	kg	0	0	33		0	0
	基準年度比						
環境に配慮した工事の推進	行動目標（次項による）						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	空調温度を適正化するように努めたが、夏季は例年よりかなり高温であったため熱中症対策で設定温度を低くする必要があり、臨機応変に対応した。不要な照明や離席時のPC電源オフ等ひとりひとりが気にかけて節電意識をもつことができていた。
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・エアコンフィルターを定期的に清掃する	○	
・電子機器は省エネ設定する	○	
・不要な照明は消す	○	



取組紹介欄



空調温度の適正化

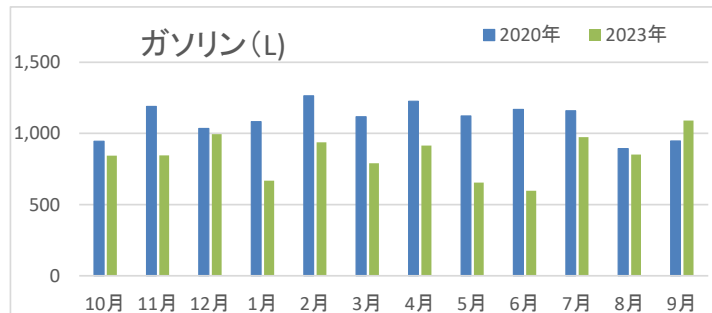


電子機器の省エネ設定

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	1,125	913	1,457	1,892	2,098	1,481	1,424	1,594	1,615	2,132	1,641	1,685
2023年	918	1,125	1,446	1,276	1,297	1,411	959	839	878	1,264	1,644	1,328

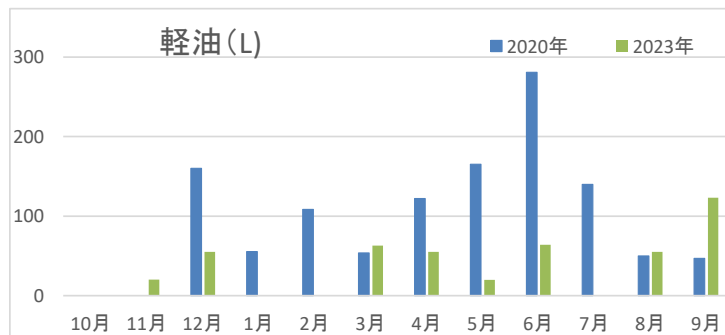
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今期は遠方の現場が例年に比べて少なかったこともあり、目標値を達成できた。可能な限り乗り合わせることで、アイドリングストップ等のエコドライブを心がけることは引き続き全社員が意識を持って継続努力していく。
・アイドリングストップ、空吹かし禁止	○	
・安全運転をこころがけ急発進・急ブレーキをしない	○	
・不要な荷物は積まない	○	
・車両の適切なメンテナンスをする	○	

取組紹介欄



低燃費車の使用

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	945	1,191	1,036	1,083	1,265	1,118	1,227	1,123	1,168	1,160	894	947
2023年	844	846	994	668	937	791	915	654	598	973	851	1,090



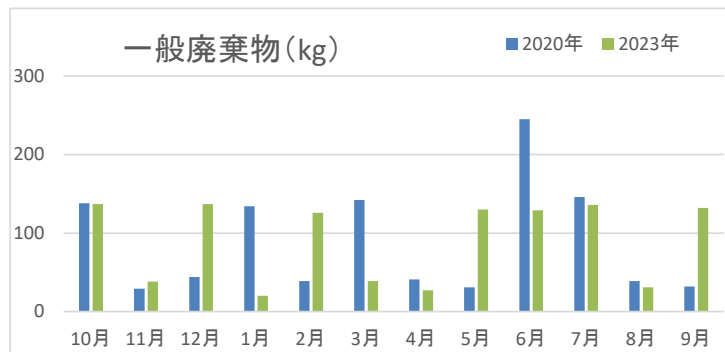
取組紹介欄



エコドライブ啓発ポスターの貼付

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	0	0	160	56	109	54	122	165	281	140	50	47
2023年	0	20	55	0	0	63	55	20	64	0	55	123

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	段ボールの排出量を一般廃棄物に計上するため、この排出量に伴って目標値が達成できていない部分もあるが、段ボールはリサイクル業社に回収を委託している。他の一般廃棄物においては削減できる余地はあるが、ほぼ毎年変化が無いので削減周知が今後の課題である。
・ミスプリントをなくす	○	
・コピー用紙の裏紙を再利用する	○	
・文書の電子化を推進し用紙を削減する	○	
・ごみを分別し、再生・再利用に努める	△	



取組紹介欄



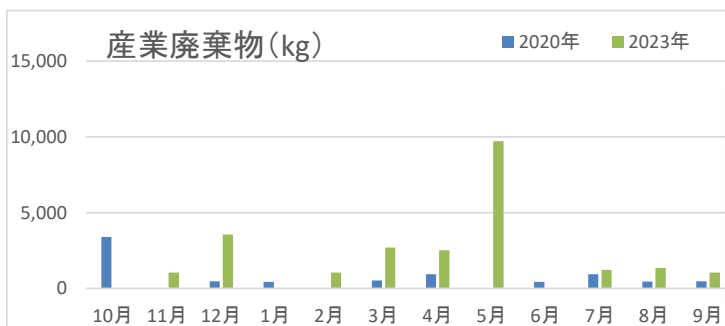
コピー用紙の裏紙利用



ゴミの分別、再生・再利用

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	138	29	44	134	39	142	41	31	245	146	39	32
2023年	137	38	137	20	126	39	27	130	129	136	31	132

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	現場の状況により産廃量の増減はあるが、工事受注時に別途工事とする等も考慮する。
・マニフェスト票による管理	○	
・廃棄物を分別し、再生・再利用に努める	△	



取組紹介欄



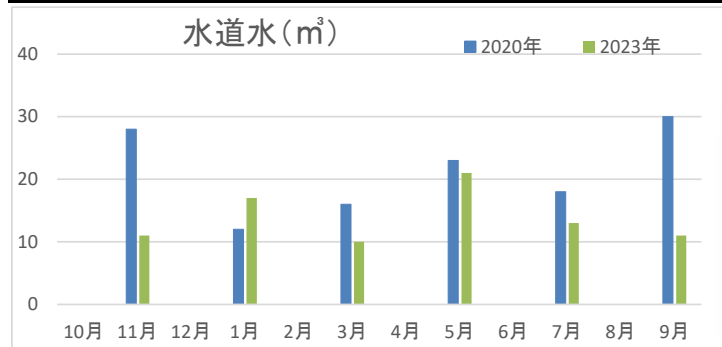
廃棄物の分別、再生・再利用



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	3,398	0	460	440	0	525	929	0	440	932	450	472
2023年	0	1,040	3,560	0	1,040	2,698	2,520	9,710	0	1,220	1,340	1,040

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	今期はコンクリートがらが多く出た現場があったため排出量が大きく増加したが、コンクリートがらの処理業者により再資源化できている。当量の増加を図り現場で非再生物を削減する。
・分別の徹底	△	
・鋼材等副産物の分別徹底	△	

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	月次評価でもほぼ全ての月で目標値を達成しており、年間累計も大幅に使用量を削減できた。節水に関しては全社員の意識付けが定着してきているので、来期も引き続き使用量削減に努める。
・蛇口に節水コマを取り付ける	○	
・節水札を掛けるなど、従業員への周知徹底	○	
・洗車時の使用水量は必要最小限にとどめ、節水	○	



取組紹介欄

節水札の設置



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2020年	0	28	0	12	0	16	0	23	0	18	0	30
2023年	0	11	0	17	0	10	0	21	0	13	0	11

溶剤使用量削減(あるいは適正管理)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		弊社で扱う化学物質は少量の塗料のみであり、現場の状況や顧客のニーズに合わせて使用するため削減することは難しいが、使用時の取扱い注意事項などは今後も注意を怠らずに周知し正しく使用することを心がける。
・使用時は防毒マスク等の保護具を着用する	○	
・保管、廃棄方法を遵守する	○	

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・省資源のための配管やダクトのルート変更	○	近年風雨や気温の変化が環境問題として取り上げられてきている。当社においてもエコアクション21を通じ、環境への取組の更なる強化と併せて企業価値の向上に真摯に取り組んでいく。
・省エネ・省資源のためVEを積極的に導入する	○	
・低騒音、排出ガス対策機械を使用する	○	
・ZEBの導入により省エネ効果の高い機器を提案	×	
・騒音、振動、汚濁の防止に努める	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	廃棄物収集業者の許可の確認
	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付・マニフェストの交付状況報告書の作成
	産廃保管場所には掲示板を設置(縦60cm×横60cm以上)
建設リサイクル法	再資源化の実施義務
騒音規制法	特定建設作業の届出
振動規制法	特定建設作業の届出
高知県環境基本条例	公害防止・自然環境保全・廃棄物の適正処理
高知市環境基本条例	公害防止・自然環境保全・廃棄物の適正処理
フロン排出抑制法	使用済業務用機器のフロン回収事業者への引き渡し・第一種特定製品の簡易点検
顧客要求事項	環境管理、品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。



□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2024年5月24日	■実施場所: 会社2階事務所・1階工場
■参加者: 全従業員対象	■実施内容: ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価: 消火・通報の手順が再確認できた	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定: 自然災害発生、新型コロナウイルス、化学物質(PRTR)取扱い等	
■実施日: 2024年5月24日	■実施場所: 会社2階事務所・1階工場
■参加者: 全従業員対象	■実施内容: 通報訓練、新型コロナウイルス対策、 化学物質取扱いについての再確認
■評価: 緊急事態発生時の行動の再確認と 緊急時連絡先の確認	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日: 2024年11月25日

本年度は二酸化炭素排出量の目標値を達成することが出来ている。
その主たる要因である電力使用量、自動車燃料使用量が工場の稼働率や遠隔地の現場が例年より少なくCO2削減の物理的、結果的要素となっている。
一方従業員各々が定期的な周知会などの社内ミーティングによりCO2削減に対する意識が向上し様々な施策を継続、実行しCO2削減に結びついている。
次に産業廃棄物、一般廃棄物は目標値未達となっている。今後は再資源化の向上や廃棄物削減に向けて施策を疎かにせずコツコツと積み上げて良い結果を築いてもらいたい。
※環境管理責任者: 鍵山義宜から長崎優弥へ変更した。
電力使用量に計上違いがあり基準値を変更した。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☐ 変更なし	☒ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

環境経営教育の実施



・定期的に周知会を実施し
エコアクション21の取組み
を全社員で共有する

社会貢献活動

地域清掃活動への参加

地域ボランティア活動参加報告書

活動名称	「2024年南国土佐観光びらき」清掃
主催	高知市、(公社)高知市観光協会
年月日	令和6年 1月 24日 (水)
時間	午前 9時30分 ~ 10時15分 午後 午後
参加者 企業名 氏名	御一高設備 鎌山 寛宣
活動内容	午前 9時20分 中央公園 集合 (受付・集合写真撮影) 9時30分 清掃作業開始 ~10時15分(中央公園から市街地までの清掃活動)
写真	
証明	上記のとおりボランティア活動に参加したことを証明する。 令和6年 1月 29日 一般社団法人 高知県設備協会 会長 和田 寛雄

その他の活動

高知県地球温暖化防止県民会議への参加

こうち脱炭素経営宣言 宣言文

私たちは、地球温暖化防止に向けての取り組みを実施します。

- ・省エネルギー、省資源、VEなどの有効性について積極的に提案・実施し環境保全に努めます。
- ・お客様要望事項を基に、環境への影響を考慮した設計・施工を行います。
- ・環境関連法規および条例等を遵守します。
- ・車両の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ・事務所およびグランド工場並びに作業現場における電気使用量の削減により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ・環境経営方針は全従業員に周知徹底し、管理・改善を継続的に実施します。
- ・環境経営方針について全社一丸となって取り組み、地域社会への貢献と健全な企業活動を継続して推進します。

株式会社 一高設備

地球温暖化防止に向けて、取り組みの実施を宣言していることを認めます。

宣言日 令和6年3月31日
高知県地球温暖化防止県民会議 事業者部会
部会長 山崎 道生

会社周辺(歩道等)の清掃



クールビズ・ウォームビズの取組

